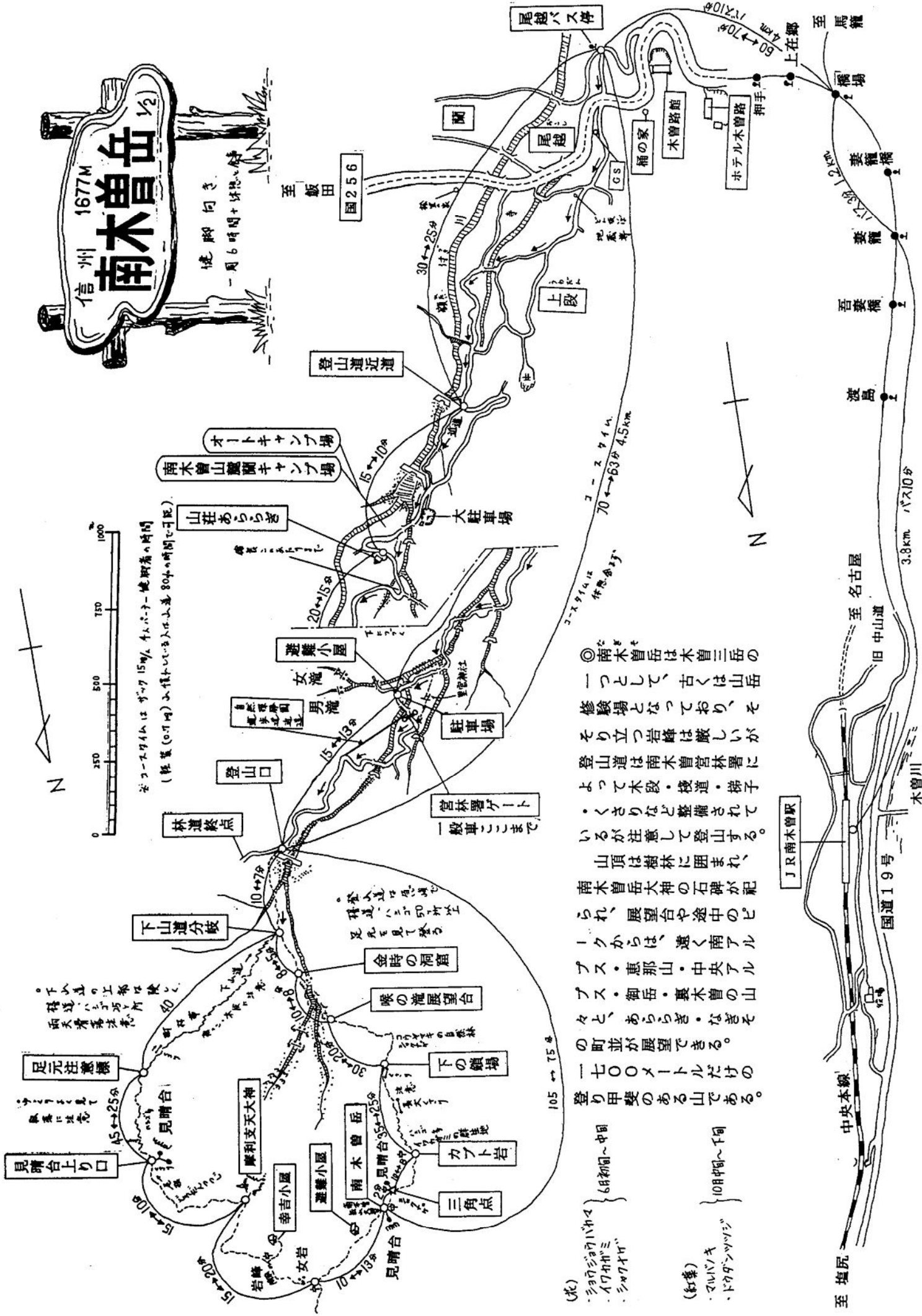


※コースタイムは平均15分/kmを基準として、一般登山者のペースを想定し、80%の時間で可能。  
(軽装(0.7kg)を前提として、登山者のペースを想定し、80%の時間で可能)



◎南木曾岳は木曾三岳の一つとして、古くは山岳修験場となっており、そそり立つ岩峰は厳しいが登山道は南木曾管林署によって木段・棧道・梯子・くさりなど整備されているが注意して登山する。山頂は樹林に囲まれ、南木曾岳大神の石碑が祀られ、展望台や途中のピークからは、遠く南アルプス・恵那山・中央アルプス・御岳・真木曾の山々と、あららぎ・なきその町並が展望できる。一七〇〇メートルだけの登り甲斐のある山である。

- (花)
  - ・シロツバク
  - ・イワカガミ
  - ・シロツバク
- (紅葉)
  - ・アキノハギ
  - ・トクガシ

6月中旬～下旬  
10月中旬～下旬